



物部孫
 人克康
 義元上洛
 三年八月
 五万余騎の
 大軍

内藤四郎左衛門

田原長政討
 人上補進守
 永年

N13
 4329



元康公

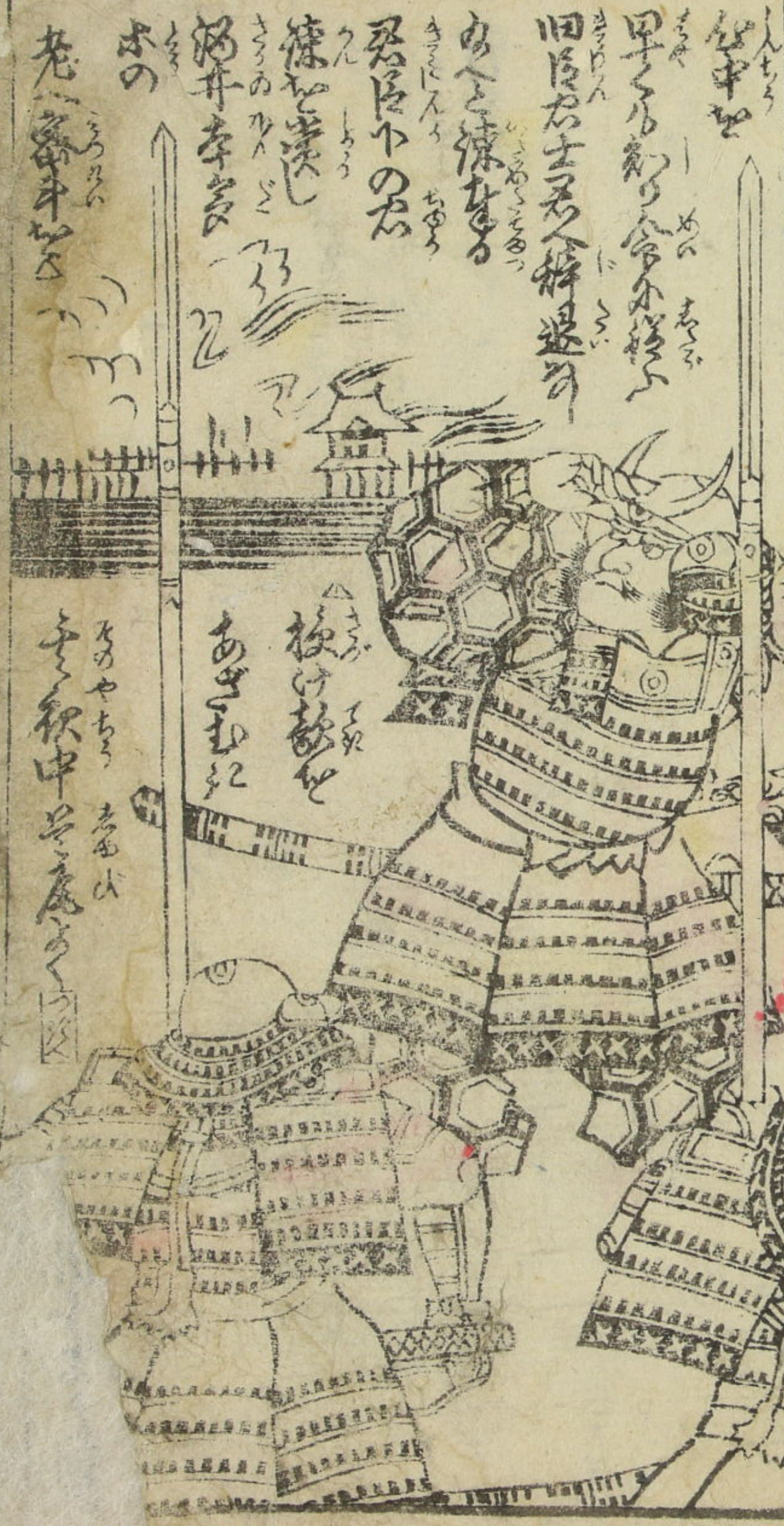


世の
没
去
後
七
雲
密
陰
小
より
我

衣保新郎忠利

衣保甚郎忠貞

ある
必
松



早
回
あ
君
徳
好
本
老

板
あ

秋中



大樹寺
大樹寺の鎌倉代
しつちりりりりりり
今川義元あつた
赤井小次郎あつた
付美あつた
この大樹寺は鎌倉の
大樹寺の鎌倉代

大樹寺
大樹寺の鎌倉代
しつちりりりりりり
今川義元あつた
赤井小次郎あつた
付美あつた
この大樹寺は鎌倉の
大樹寺の鎌倉代

大樹寺
大樹寺の鎌倉代
しつちりりりりりり
今川義元あつた
赤井小次郎あつた
付美あつた
この大樹寺は鎌倉の
大樹寺の鎌倉代

大樹寺
大樹寺の鎌倉代
しつちりりりりりり
今川義元あつた
赤井小次郎あつた
付美あつた
この大樹寺は鎌倉の
大樹寺の鎌倉代

大樹寺
大樹寺の鎌倉代
しつちりりりりりり
今川義元あつた
赤井小次郎あつた
付美あつた
この大樹寺は鎌倉の
大樹寺の鎌倉代

大樹寺
大樹寺の鎌倉代
しつちりりりりりり
今川義元あつた
赤井小次郎あつた
付美あつた
この大樹寺は鎌倉の
大樹寺の鎌倉代



1
 自づからあはれに投付
 荒まのるありたる
 人写つこと
 見ふて乃ちあはれ
 の軍多たれあはれ
 門あし引違くうう門あし
 納不程たか
 角塔塔長

左橋を越せ入下
 としつるあはれ
 せり引くは海舟

水野信元使者



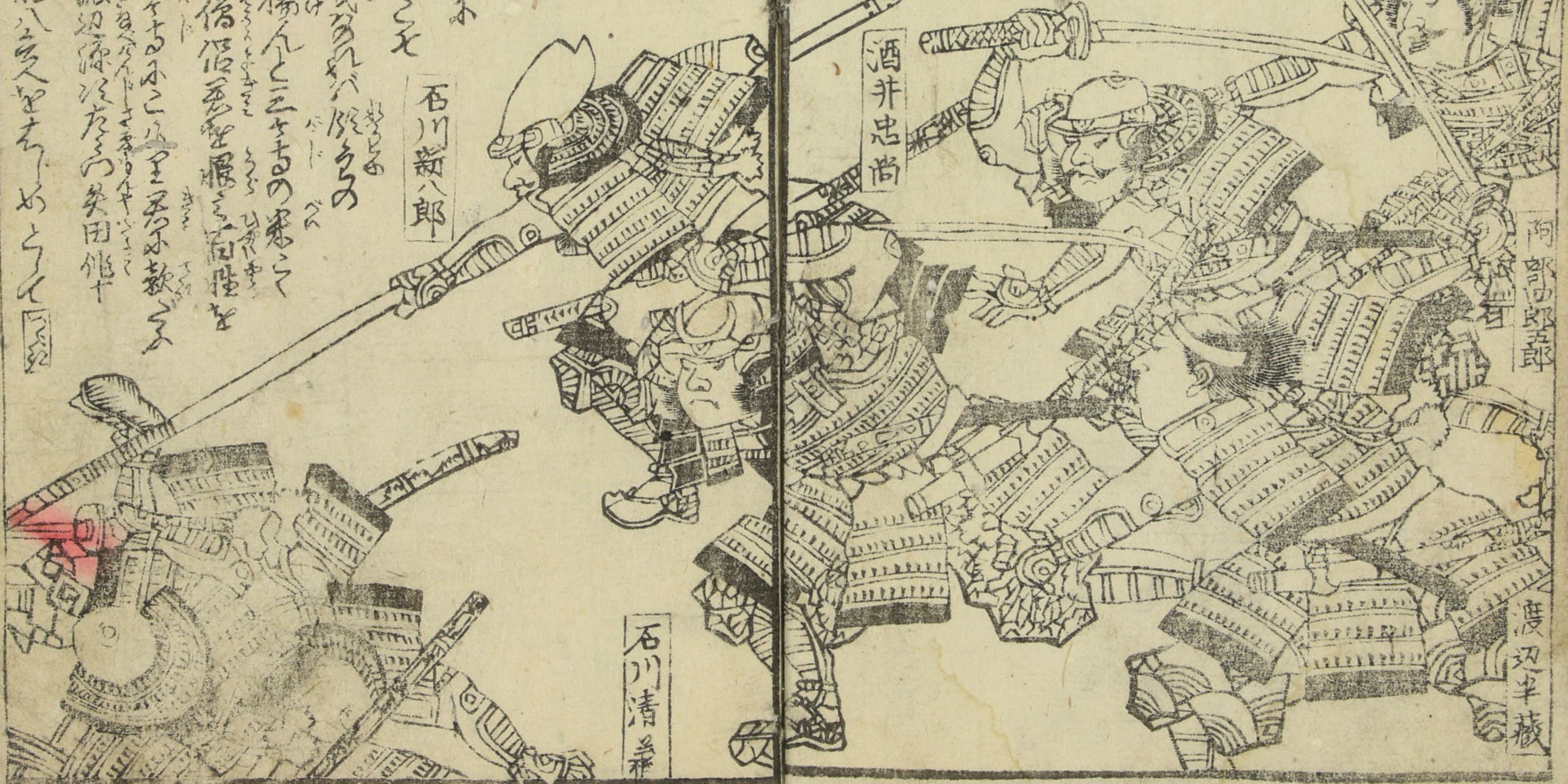
元康公
 あはれ敷を

軍勢の
 大軍勢の
 大軍勢の
 大軍勢の
 大軍勢の

今もあはれの
 大軍勢の
 大軍勢の
 大軍勢の
 大軍勢の

阿部四郎五郎
 渡辺半蔵
 石川清義
 石川新八郎
 酒井忠尚

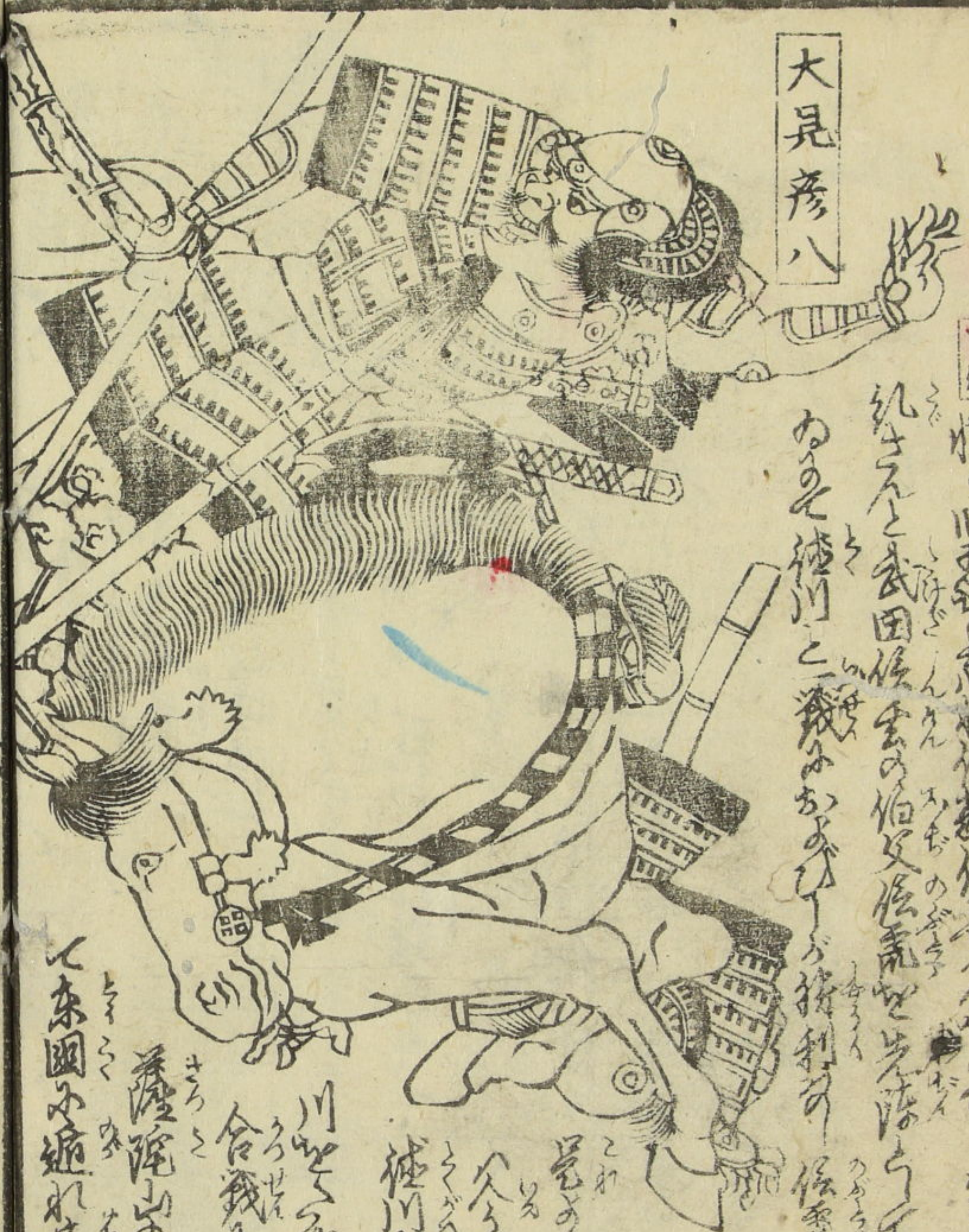
今寺小末殿多く聘へ
 あるとのと西へ尾堂事い
 借入る世し水三寺の
 偽弟引せせぬ我身
 仍奉多他左忠の大死小
 石川新八郎
 酒井忠尚



石川清義
 石川新八郎
 酒井忠尚

阿部四郎五郎
 渡辺半蔵
 石川清義
 石川新八郎
 酒井忠尚

大見彦八

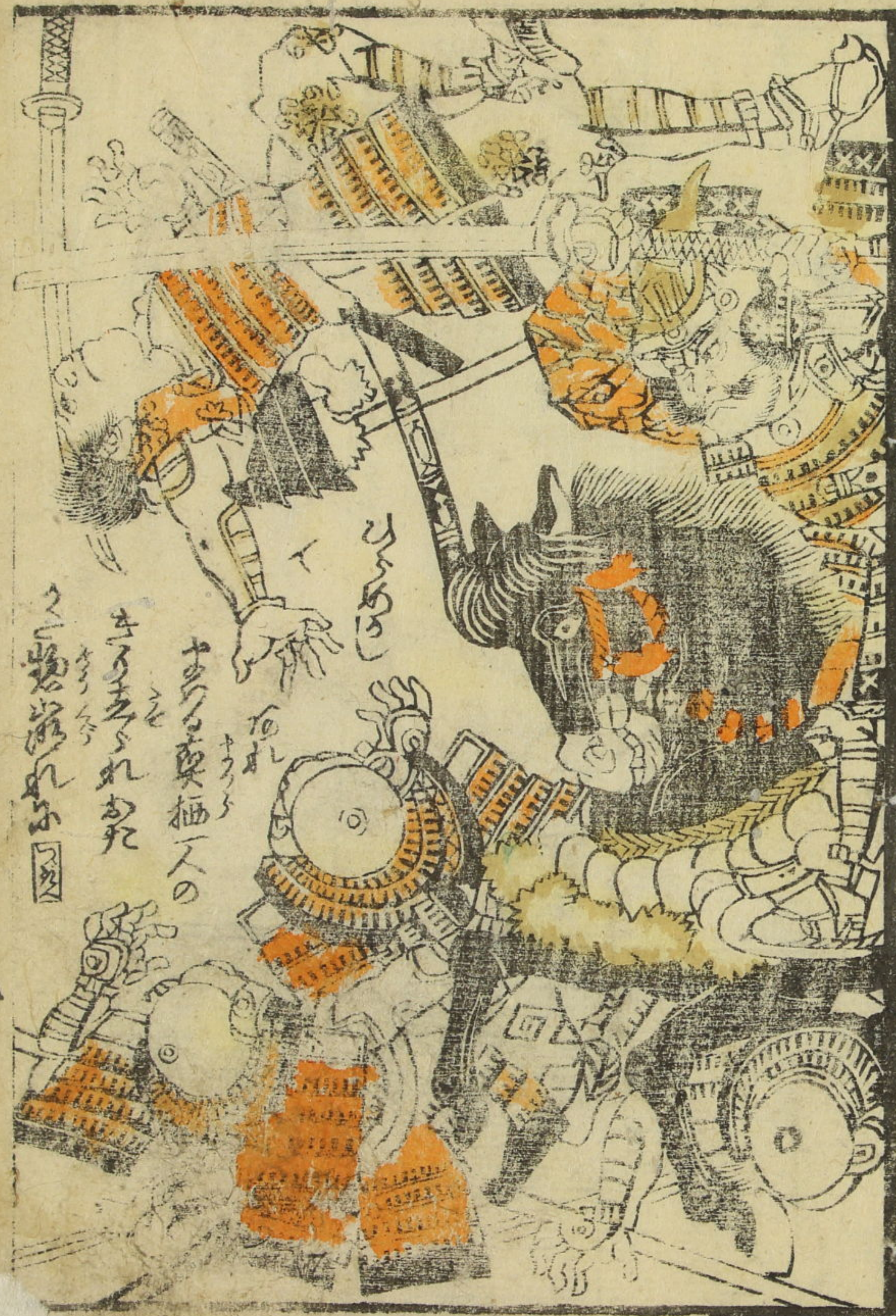


ついでに懐の旧我を忘れぬ故に長久の世に家康の御恩を
仇とて武田信玄の伯父信玄を先鋒として後をの國を
わが徳川の幾ふかひに討利あり 信玄の御恩を
實用のさるよ
り才也退く
是より武田家ありて
久々川をえんまて
徳川とせ合を今
川せり死さんと辱を
合我小あぶ成生
藩院の一戦の敵軍
と東國の通れ走る後者の二



水野次郎佐

國武田徳川のあ家よりそを討つ
徳川武田信玄に徳川を
亡州中を討つるをいふと
是るはあれは徳
川より内は快
小義ありが國



十丈の真桶入の
去り去られぬ
物遊れ



真桶直證

ついでに
勇将真桶
十丈
七尺八寸の
大馬



新

つた

家康公の戦ひ
よるおと強き者く

大坂
大坂の戦ひ

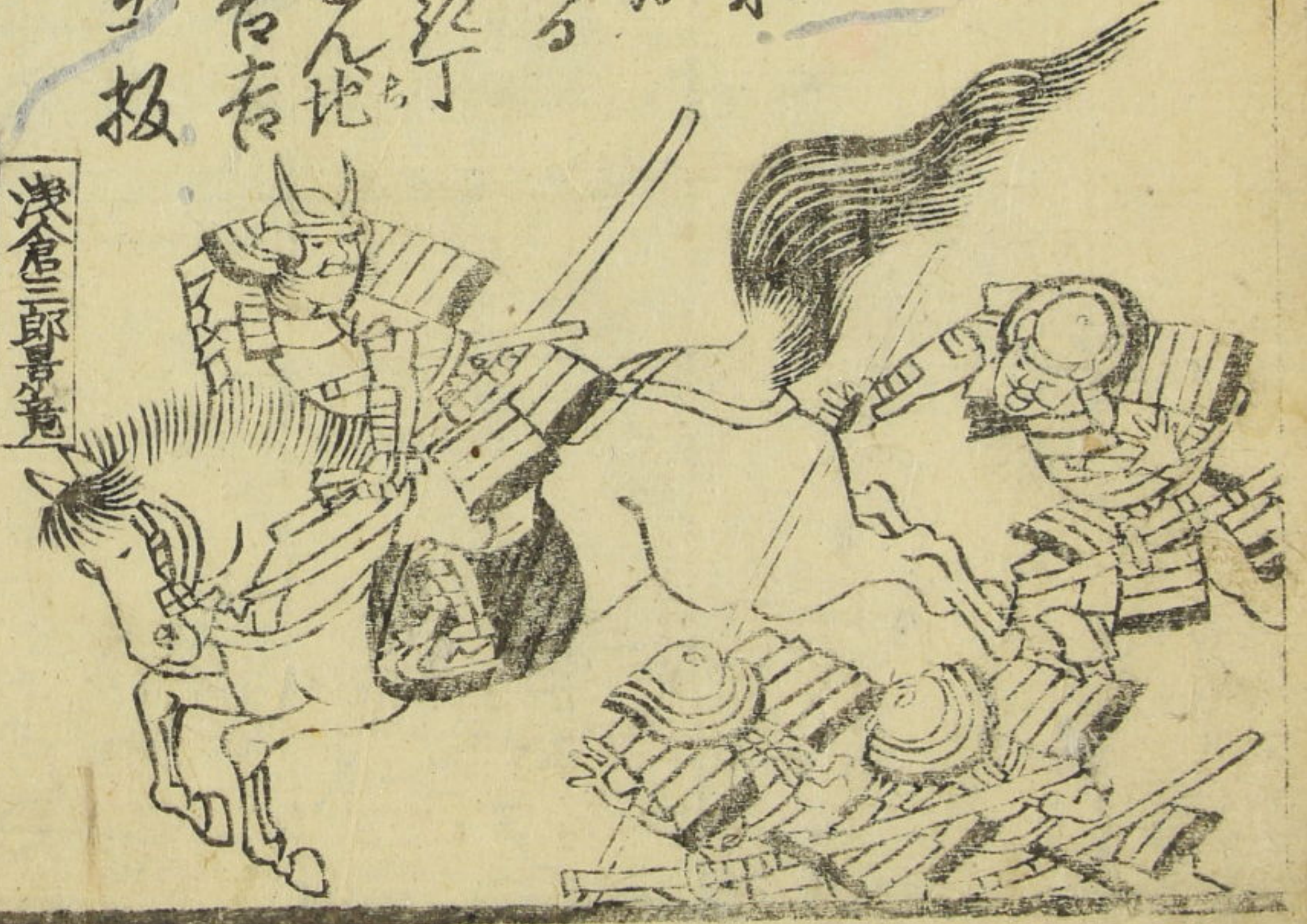
任事甘んぢ
後田佐の平み

○酒第の区是き了丁

志丁目一志ん地
坂田若吉

出板

浪倉三郎景鏡



天正五年

のり

のり

門也の三郎光成



~13
4329
1